

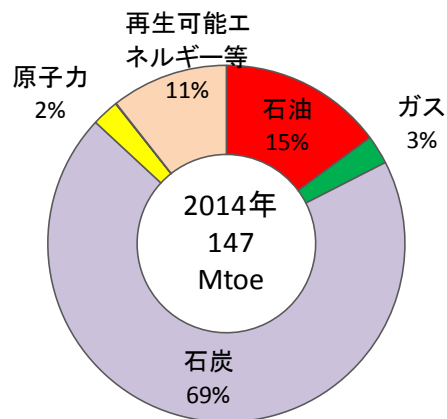
5-5 南アフリカ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー総供給量 (2014年) : 147 百万 toe (日本の 0.33 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2014年) : 2.72 toe (日本の 0.78 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 114%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 437.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 36.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 8.10 CO₂ 換算 ton (日本の 86.6%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 石炭 120 年

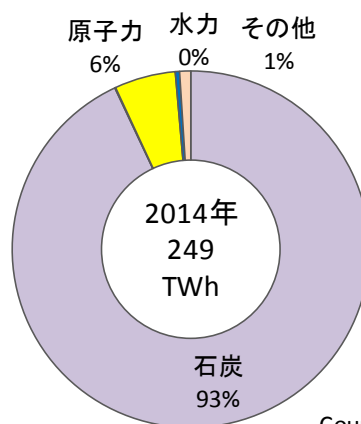
一次エネルギー供給構成 (2014年)



Country: South Africa

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



Country: South Africa

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 南アフリカのエネルギー政策全般は、エネルギー省 (Department of Energy) が所管している。その下で、電力事業やパイプラインガス事業の規制機能に関しては南アフリカ国家エネルギー規制機関 (NERSA) が、石油上流部門の政策に関しては石油庁 (Petroleum Agency) が所管している。

(2) 基本政策

- 2008 年に制定された国家エネルギー法が南アフリカのエネルギー政策の根幹となっており、その中ではエネルギー安全保障の確保と貧困層のエネルギーアクセスの保証が最重要目標として謳われている。
- エネルギー省は、国家エネルギー法に基づくエネルギー政策における課題として、エネルギーへのアクセス、貧困層のために安価で信頼できるエネルギー供給、一次エネルギー源の多様化と石炭依存度の軽減、民間エネルギー企業に対する管理・指導、エネルギー部門における環境保護責任、を重視した政策を展開している。

(3) 最近の動向

- Zuma 大統領は 2015 年 8 月 12 日、国内のシェールガス探鉱を近日中に認可すると発言した。同大統領によると最近の評価結果、北 Cape 州の Karoo 地域には可採埋蔵量 390Tcf (11Tcm) のシェールガスが賦存する。しかし、その認可時期・条件等は明言しなかった。同国は 2011 年 4 月、環境保護団体と地域社会の反対で水圧破砕法の使用を禁止しており、シェールガス開発に伴う懸念を払拭するために各省横断のタスクチームを結成して対応にあたっている。
- 2016 年 8 月、地方選挙が実施され、与党のアフリカ民族会議 (ANC) の得票率は 54%にとどまり、前回 2011 年の 62%から大幅に低下。アパルトヘイト (人種隔離) 政策を撤廃して民主化した 1994 年以降で最低となった。一方、最大野党の民主同盟 (DA) が 27%を獲得し、前回の 24%から得票を伸ばした。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2013 年 6 月、三井物産は GDF Suez 社から南アフリカでの初の大型 IPP (独立系発電) 事業会社の株式 25%を取得すると発表した。同事業は、Durban 市 (Avon Project)、並びに Port Elizabeth 市近郊 (Dedisa Project) の 2 か所に、設備容量合計 1,005MW (Avon Project : 670MW、Dedisa Project : 335MW) の軽油火力発電所を建設し、発電所完工から 15 年間にわたり発電事業を行うというものである。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: South Africa

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		147 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.72 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.36 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		114 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		437.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		8.10 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	69 %
	石油	15 %
	天然ガス	15 %
	原子力	2 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	11 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-14 %
(9) 石油の輸入依存度		99 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA